

住民と議会の意見交換会（アロハホール）

H24.8.25

開会 午後 7 時 0 0 分

寺地議運委員長 （開会あいさつ）

前田議長 （あいさつ）

（出席議員自己紹介）

平岡、会見、竹中、酒井、入江、松本、光井、増井、河田、浦木、浜中、吉田、吉村

（議会報告）

入江総務産業常任委員長 （①町内業者の保護育成について（資料を基に報告）、②国民宿舎「水明荘」の資金運営について）水明荘の利用状況について。宿泊者数：H22 年度 15,769 名、H23 年度 15,842 名。休憩・会議：H22 年度 41,819 名、H23 年度 39,868 名。全体の売上げが減っている状態。H11 に改修し、H32 まで償還予定。今後の大規模改修にも備えておかないといけない。今のスタイルで良いのか、議会としても考えていかないといけない。現在の町長の考えは町営を維持。昨年度資金ショート、町から 2 千万を導入している。議会としても注視しながら提案・提言、水明荘のあり方を検討して行きたい。

酒井教育民生常任委員長 （①地区公民館について（資料を基に報告）、②国民健康保険及び介護保険の保険料について（健康づくり含む）（資料を基に報告）、③幼保一体化の取り組みについて（資料を基に報告））

竹中行財政問題調査特別委員長 （現在までの取り組み状況について資料を基に報告）

平岡中学校統廃合問題調査特別委員長 （特別委員会報告について資料を基に報告）

会見議会改革基本問題調査特別委員長 （特別委員会中間報告について資料を基に報告）

（議会報告後の質問）

住民 1 議員報酬について。財政面を考えて議員定数を 5 人減らしたのに、報酬を上げるのは矛盾している。

会見委員長 現状維持、引き上げなど様々な意見があった。先回の選挙は無投票だった。若い人がなかなか出てこれないのは報酬が安いからではないか。二足のわらじでないと議員活動ができないような報酬額ではないか。現在、一般議員で 208,000 円。若い方が議員になろうとしたときに、この金額では生活できない状

況である。それを踏まえた上で議員報酬を見直す。他の自治体では日当制にするところもある。湯梨浜ではどうするのか、意見を聞かせてほしい。

住民 1 208,000 円は安いわけではない。何のために定数を減らし、報酬を上げるのか。人数がいたほうが行政はやりやすいのではないか。矛盾している。

住民 2 水明荘の資金不足について。かねてから経営について議論があった。構造的に 4 年前から年間 2000 万の資金不足が起きると監査意見を出していた。資金不足の原因は年間 8000 万の借金の償還。償還ができるような財政状況ではないのではないか。今まで問題を指摘されてきていたのに対策をしていない執行部の責任でもあるし、チェック機能である議会もなんらかの行動をしないといけなかったと思う。早急に対策を立てていただきたい。問題は、今の借金を誰が始末するのか。そこをつめてかからないと、指定管理であろうが、民間売却であろうが、何の対策にもならない。

入江委員長 今の支配人を登用するに当たって、コンサルにかけた。今は民営ではなく、町営で維持しながら新しい企画などの能力を持った支配人に変えてはどうかという指摘。それによって公募をかけ、今の支配人となった。企画などされているが、なかなか実際に宿泊者などの増加にはつながってこない。人件費の問題も大きい。町の職員が 7, 8 名いて、民間とは違う状況。今年度で 1 名の配置換えをされた。しかし抜本的な改革にはなっていない。今後ともきちんと精査し、早いうちの打開策を検討して行きたい。

住民 3 水明荘だけの問題ではなく、東郷・羽合の旅館業界全体の問題でもある。その中の一つが町営の水明荘の問題。水明荘だけが 1 人勝ちしてもしょうがない。温泉全体エリアをどう活性化させるのかがベース。一つ言っておきたいのは、お客さんが楽しみにしているのは温泉だということ。水明荘の露天風呂は魅力がない。

地区公民館について、現状の課題が不明確で、コミュニティの拡充と言われてもわからない。現状の課題の原因は何なのか、その追及が不十分である。この状況で拡充してもまた無駄になる印象。

行財政の問題について、スリム化を推進し、活力がなくなり沈滞化してしまっ
てはどうしようもない。育児や老人福祉も大事だが、働く人の活力が一番大事。
県東部は誘致、コールセンターなど、県西部は太陽熱発電など。湯梨浜町への
企業進出はない。遊休土地、施設があるのなら無償貸与してでも企業を誘致す
る。それが最大の活力増加、若者定住、それによって町の力づくりになる。企
業誘致にもっと力をいれてほしい。

酒井委員長 地区公民館について、報告書には書いていないが、今の地区公民館という

のは羽合に6館、東郷に4館ある。合併してから8年、毎年1500万円ずつ予算をつけてきた。目的は地区公民館を核にした活性化。泊地区には予算はない。比べたときに、泊は羽合・東郷に比べて劣っているのかといたら、そうではない。今の地区公民館に予算執行をしていることを変えていかなければ住民の一体感が生まれないのではないかという思いでの報告書。

入江委員長　企業誘致について、近年は羽合西コミュニティに「センコースクールファーム」を誘致。障がい者、高齢者の雇用がある。町内、中部圏域などから40数名の雇用。東郷湖畔に「ばにーに」の店舗、工場が開店。こちらも30～40人の雇用。一つ一つは小さい雇用かもしれないが、町も我々も意識している。地元雇用が生まれる施策には積極的に取り組んでいる。子どもたちが都会に出て行って、雇用の場がないと帰ってくるはずもない。湯梨浜だけではなかなか難しいかもしれないが積極的に取り組みたい。

住民4　地区公民館について、去年から中断しているわけですね。内容は地区の格差があるということだったが、酒井議員はそれほどないという話をされた。合併以降、社会教育について非常に薄くなっている。公民館活動としてのものがなくなっている。公民館と区と一体化していかないといけないので、変えていくこと自体には賛成だが、変えるやり方について、町が考えているものと現場が考えているものは違う。コミュニティを重要視するということであれば、一体化して倉吉市のような自治公民館にするとか。そうすると町職員を増やす。組織だけを変えて、バックアップ体制がないとなかなかやりにくい部分がある。変えるなら具体的なものを出してもらわないと協力しようがない。

酒井委員長　教育委員会が公民館のやり方を変更したいというのは、公民館運営審議会で協議されて、公民館は個々の生涯学習をフォローする推進員を置くという形。社会教育自体が成り立ってない状態になっていたというのも合併してから地区公民館に投資してきたのに結果が出ていない部分があった。投資した地域としてない地域の差が見られない。考え方として、総合計画に載っている方向、住民の皆さんと一緒にやってやらないといけない課題を、行政の担当部署がそれぞれの地域に出向いていって、確実に前進させる。私たちは行政ではないので、考え方を提案した。

住民2　このような会をすることはよいこと。執行部もこのような会をもつべき。すると言いながらやらないことが多い。今日はこの場で結論を出すような会ではないので言っぱなしになるが言っておく。公民館について、運営審議会で協議して提言を受けたという説明だったが、審議会の内容を見てみると検討していない。事務局の提案を承認するだけ。議論がされたかといえそうではない。地区住民への説明をしようと言っていたがされていない。同様の問題が中学校統

廃合問題でもある。説明会を開いていない。そのような実態を知ってもらった上で審議してほしい。コミュニティー構想には賛成できない。今の地区公民館制度は社会教育法に基づいて、条例も決まっている。町が設置しても町は金を出さない。誰が生涯学習を責任もってやっていくのか。コミュニティーの長は区長なんですか。それなりの識見のある人が進めて行くべき。地区公民館の活動が不十分だと言われたが、田後は立派にやっている。公民館活動がなくなるのは残念。

酒井委員長　コミュニティー構想は、公民館活動の拡大がねらい。今やっている社会教育の活動は当然続ける。それ以外に、地域の活性化に繋がる活動を地域でやっていくためのもの。いただいたご意見は委員会でも検討してみたい。

住民5　聞いていて、やってきたことは分かるが、何がやりたい、何が目的で、そのためにはこういう時間軸でやるというストーリーが見えない。結局議会の責任とミッションというのは何なのか。行財政改革では何が問題で、やったことに対して何が変わったのか、何を変えようとして今までされたのか。町内業者の育成について、落札が高まったことで育成されたと言えるのか。町内の業者に落札してほしい、そのための課題は何なのかということが見えてこない。

寺地委員長　議会のミッションについては、議員個人はそれぞれ意見があると思うが、今日の報告会では議決したもの、委員会で検討しているものについてのみ報告するというルールでやっている。ご了承いただきたい。

竹中委員長　合併後、財政的に非常に厳しい。これからますます厳しくなるが、行政サービスは低下させてはいけない。総合的な検討をしている。職員の定員を減らさないといけないのではないか、しかしあまり減らすと行政サービスできない。高齢化率も高まり、国の財政も大変な状況。予定していた交付金もわからない状況。湯梨浜町はどういう方向で住民サービスを向上させながら運営していくのか、検討をすることを努力している。何が問題で、何を改革しようとしているのか、具体的に示しながら行政に提言していくことが重要だと思っている。

入江委員長　地元業者の育成について。雇用の場の確保に一番重きを置いた。入札の申請だけを出せばその中から入札メンバーに入れるが、今後きちんとしないといけないのは、何ができるかという入札の申請をするだけで、できますよということでは不安がある。なぜかという、手を挙げてたまたま取ってしまったが、本当にその業務ができるのか。入札のメンバーに入るときの経緯、メンバー選定についてはきちんとチェック機能を働かせないといけないと思っている。まだまだ課題はたくさんある。全体の入札制度のあり方の改革が必要と思っている。

住民 6 地区公民館について、実際に、自分のところ以外の地区公民館活動を見に行ったことはありますか。報告だけではなく、活動しているところを見てほしい。どこの公民館も一生懸命されている。施設のにもどこも同じではない。一生懸命、苦勞しながらされている。町からは助言などはない。公民館活動がうまく回るように、行政側からも提案があってもいいのではないかな。そういうこともしていかなないと、なかなか活性化していかない。各地域の住民がどんなふうになっているのか、もっと耳を傾けてほしい。中学校統廃合問題検討委員会の委員に入らせてもらったが、行政の道筋ができています。第 1 回では子どもたちにとってどういう中学校がいいのか話し合った。第 2 回では実際に建設等することにお金がかかるので、その話をするようになっていたが、何カ月も期間が開いた。3 月には結論を出さないといけなかったのに、9 月 10 月になってから立ち上げますか。違いますよね。もっと早くから取り掛かるべきだった。場所についても検討委員会で話をすべきじゃないかという話も出たが、私は責任が持てないので検討できないと言った。実際に保護者の意見を聞いてもらいたいが、参加者が少なかった。私たちが一生懸命質問しても、町がどうせ思うとおり決めるんでしょと言われたときに、何にも言えなかった。参加者は少なかったが記録も取っていなかった。町が住民のことを考えていると言えますか。私は信用できません。せめて議会は住民の代表として意見を吸い上げ、町に提言してほしい。

酒井委員長 地区公民館の活動実態は見えていない。報告書を見た。予算を付けたところと付けていないところの報告書を比べても差がない。行政が地区と一体になってやっていくという姿勢はないことを確認している。コミュニティセンターになったら、各地区担当の職員が連携を取りながらできる形を求めていく。

(議員報酬について)

住民 5 石井議員のビラについて、正しい情報かどうか。誤解を招く情報。課題としては 2 つあって、議員定数については行財政改革で少ない人数で効率よくやるべきだが、何人がいいのかいろんな考えがあるので検討課題としていただきたい。報酬について、安ければいいということではない。せいぜい年間 300 万レベル。本気で議員活動をやろうと思えば安いかもしれない。本来議員の活動に対する報酬だから、議員としてどれだけ活動するのか、そのためにはこれくらいいるという話が出てくる。高い、安いを自分の年収と比べて勝手な判断はできない。決めるに当たっての考え方を最初にきちんとしておかないといけない。一般論として年収 300 万というのは魅力のある職場ではない。議員の活動に魅力があって、もっと頑張りたいという人にとっては、ずっと時間を割いては無理。何をするからこれくらいが妥当だと言う、報酬の妥当性を何のパラメーターで判

断するのかを議論しないといけない。財政面を考えると効率を上げないといけない。人数を減らして、質を上げて、報酬を上げて、トータルでは下げる。基本的な考え方を最初にきちんとしたほうがいい。

前田議長 石井議員の貼り紙については、議会運営委員会でも議論した。議長として厳重注意もした。報酬については住民の意見を聞きながら決めるとしている。

住民5 貼り紙を貼るなということではなく、正しい情報を広めてくださいということ。

会見委員長 議会改革検討委員会でも、議員が何をやっているのかわからないという声が非常に多かった。その中で、報酬はいくらが妥当かと議論するのは間違っていると個人的には思う。自分が一住民のとき、議会をTCCなどで見ても、議論の内容が見えない。そこをまず見ていただきたいということで改革を進めている。議員が議決するときに、馴れ合いになってしまっただけは、議員としての仕事になっていない。研究、勉強し、町のあり方をしっかり見ていかなければ議員報酬をもらえる立場ではない。365日議員であるという意識を背中に背負っていかなければいけない。それに対しての報酬はどうか。少数精鋭、議員の資質を上げるために勉強する、町民と話をするために出かけていく。議員活動に一生懸命になるためには今の報酬で良いのか。皆さんの意見を聞きながら進めて行きたい。5人減ったから増やすという単純な問題ではない。

住民2 議員報酬について、私たちが高い、安いを言うことはできない。一定の決め方で今まで決めてこられたのでお任せしたい。ただ、今定数を削減したから浮いた金を分けるという話になってしまう。今のタイミングでそういう提案をされるのはまずいと思う。もう少し熟慮してからそれなりの機会に提案されるのがベター。民間10人から成る検討委員会の提言があって、と報告書には書かれていた。議会改革検討委員会の議事録を見たが、必ずしもそうではなかった。議員の成り手がないから報酬を上げないといけないということであれば、夫婦2人と子供2人の生計費、それには納得できないという意見もあった。そういう一面もあるので、定数を落とした今、こういう提案をされるのはまずい。

(行政・議会に対する提言)

住民7 以前から行政にお願いしているが、虫歯予防に関して。町では乳児幼児の虫歯予防でフッ化物の洗口を5年前から町内全部でやっている。2年前から公費が打ち切られた。導入当時は担当から値段的には高くないのでできるという話だったが、担当が変わって切られた。歯科保健者会議でもなんで切られたのか分からないという意見。小児の虫歯予防は将来の医療費抑制につながる。成人の歯科治療の95%は再治療。最初の虫歯にならないことが大切。できれば公費で継続させてもらいたい。永久歯の虫歯予防なので、本来小中学生、最後の永久

歯が生えるまでやるべき。2年前に教育長にも話をしたが、何も進んでいない。今はコストがかかるが、将来的には抑制になる。20万もあれば町内すべての子どもに出来る。少子高齢化の時代なので、これから増えることもない。その恩恵は20～30年後にかえってくる。介護予防の話もあったが、歯のない人は摂食嚥下障害になりやすい。治療にけるお金の幾分かを予防に回してほしい。検討をお願いします。

住民2 行政に対する要望として、真摯に住民の意見を聞く機会を作してほしい。中学校統廃合問題について、町報には、住民の皆さんに説明し、意見を聞いたと書いてあるが、一回もない。こんな人を馬鹿にしたような話はない。公民館問題も然り。公明正大に、納得のいくような進め方をしていただきたい。

住民8 水明荘について、巷の評価では予算の割には料理が悪いという噂。食べに行こうということも少ない。経営的に苦しいから安い料理を、ということになれば、まったく悪循環で絶対行き詰ってしまう。ぜひともなんとか策を練っていただきたい。この8月に差別事象が起こっていたが、議員さん方は確認されているか。確認していただきたい。

寺地委員長 差別事象については報告がありました。

意見交換会は初めての試み。今後は1年に1回以上続けていきたい。意見・提言については、議員や事務局にお知らせいただきたい。テレビやインターネットでも議論の様子を中継しているのでご覧いただきたい。

浜中副議長 お忙しい中ありがとうございました。

閉会 午後9時00分